

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。
取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に立てかけないように保管してください。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
- 人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡が出ます。
- ロング束柱には取付けできません。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を用いてください。

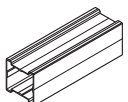
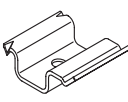


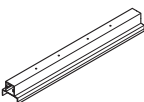

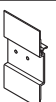
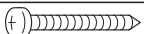


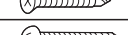


<施工上のご注意>

注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行ってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

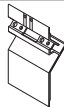

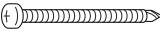
【1】大引き束柱セット

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		3枚用	5枚用			3枚用	5枚用
リードデッキ束柱		1	1	横止め金具		2	4
リードデッキ大引き（床板3枚用）		1	—	幕板B取付補助部材		3	3
リードデッキ大引き（床板5枚用）		—	1	【1-1】φ4×13ナベドリルネジ		9	11
幕板取付材1		2	2	【1-2】φ5×35セルフタッパンアンカー		1	1
				【1-3】φ4×25ナベ2種タッピングネジ		4	4
				【1-4】φ4×19ナベドリルネジ		2	2
				【1-5】φ4×25サラドリルネジ		7(※1)	7(※1)
束柱固定金具		1	1	【1-6】φ4×30トラスタッピン1種		6	6

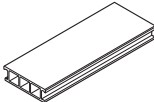
※1 同じネジがブロンズ、生地の2色梱包されています。

■ 梱包明細表のつづき

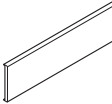
【2】 幕板取付部品セット

名 称	略 図	員 数
幕板取付材2		2
【2-1】 φ4×25サラドリルネジ		4
【2-2】 φ4×40ナベドリルネジ		4
取付説明書〈E210〉	—	1
取扱説明書〈UE057〉	—	1

【3】 床板セット

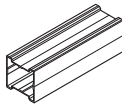


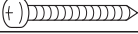
名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

【4】 幕板Bセット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
幕板B		1	2	3



【5】 束柱セット

オプション

名 称	略 図	員 数
リードデッキ束柱		1
束柱固定金具		1
【5-1】 φ4×13ナベドリルネジ		5
【5-2】 φ5×35セルフタップアンカー		1

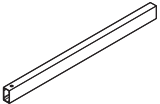


【6】 幕板Bコーナーキャップセット

オプション

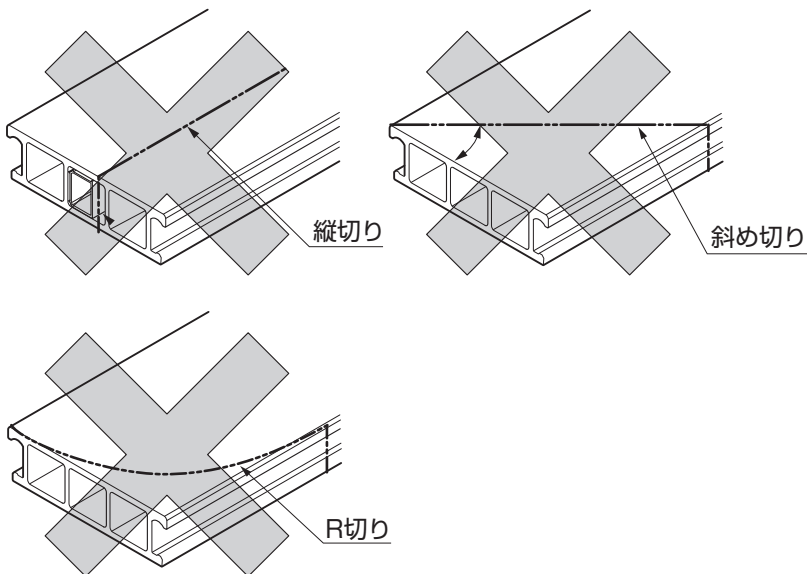
名 称	略 図	員 数
幕板B90°コーナーキャップ		1
【6-1】 φ4×14サラタッピン1種		2

【7】 筋交いセット

オプション

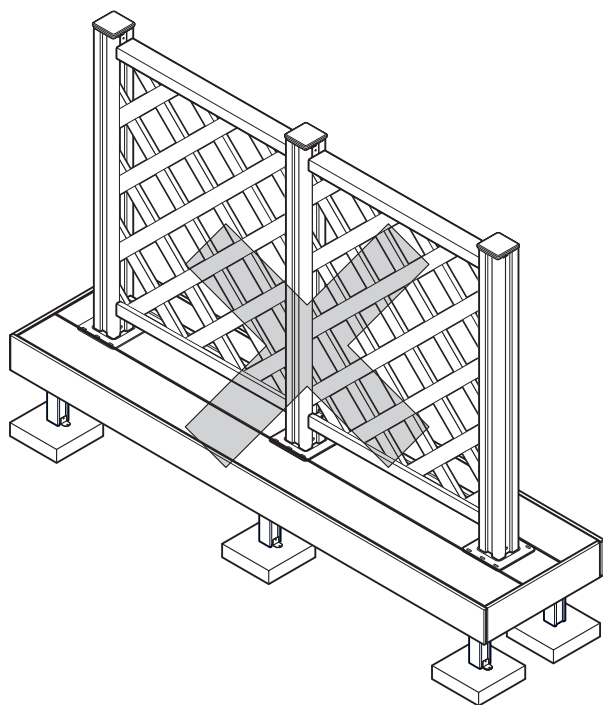
名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【7-1】 φ4×25ナベドリルネジ		4	6

1. 施工時の重要確認事項



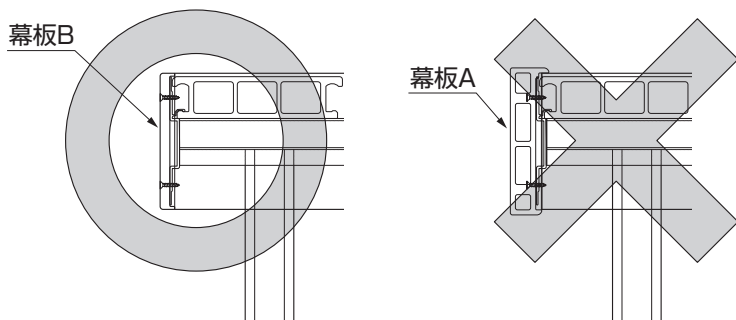
ポイント

- 床板の間口調整（縦割り）及び、斜め切り、R切りはしないでください。



ポイント

- リードデッキにフェンスを取付けないでください。

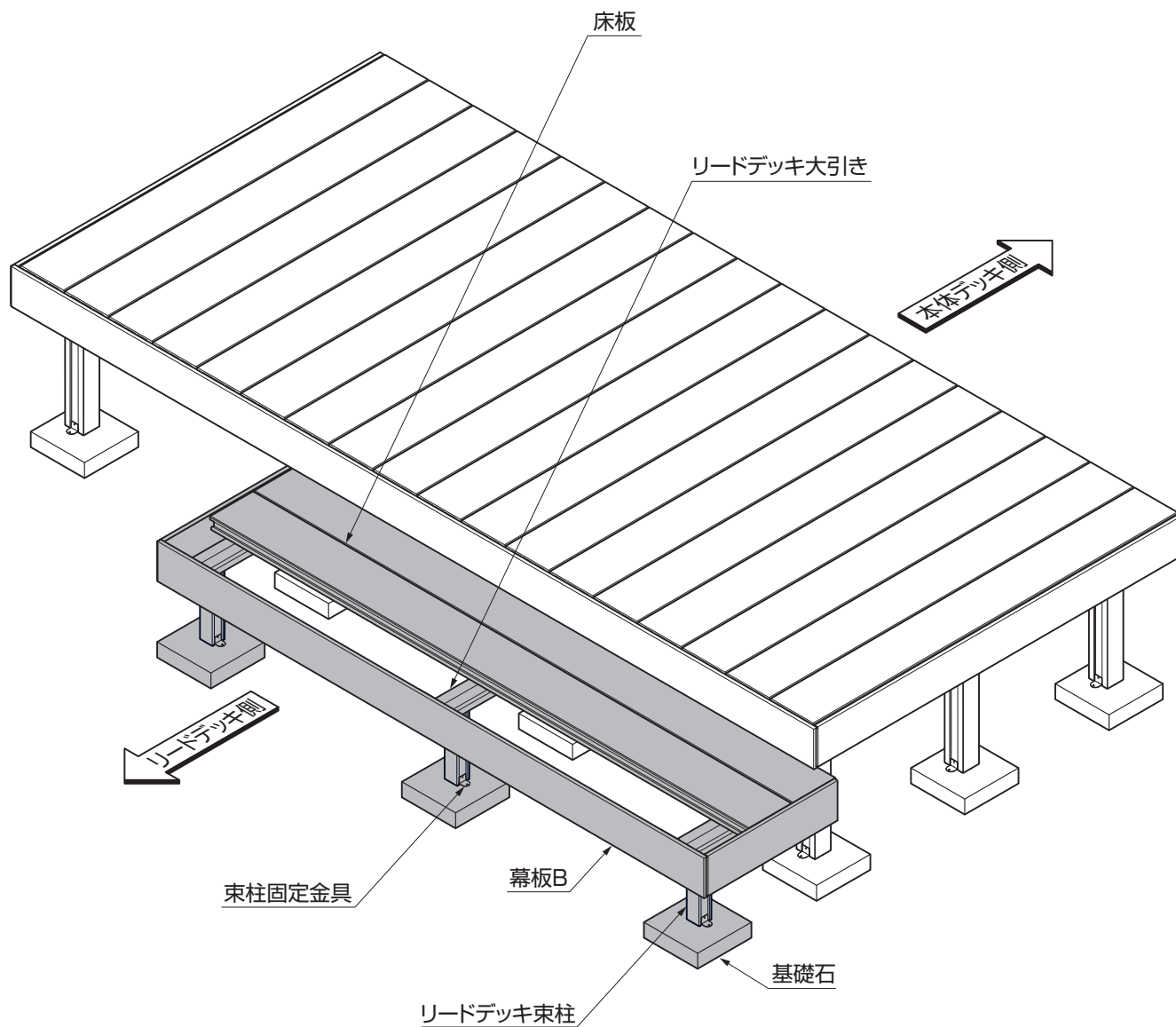


ポイント

- 幕板取付は幕板Bのみ対応です。幕板Aの取付はしないでください。
- リードデッキに取付け可能な幕板は「幕板B」です。「幕板A」は取付け不可能です。

2. 基本寸法と各部名称

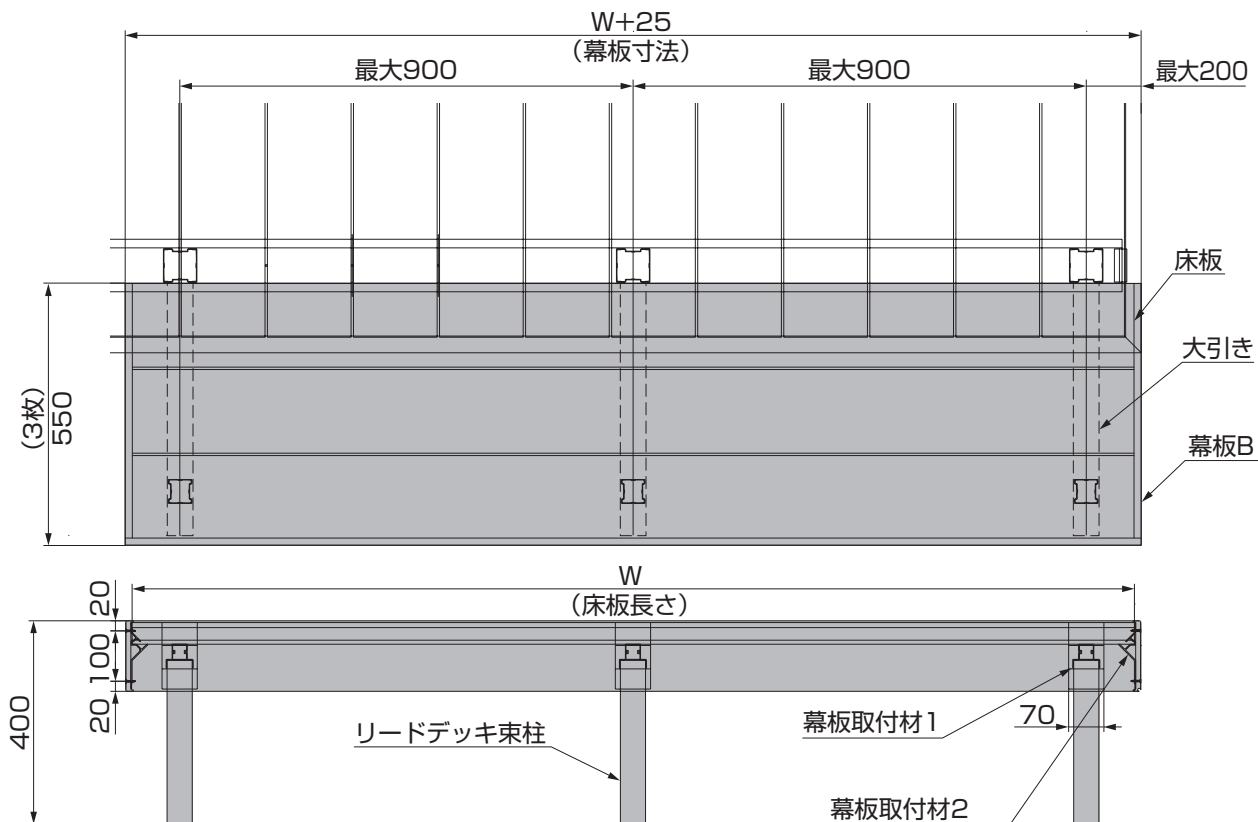
2-1 各部名称



2. つづき

2-2 基本寸法納まり

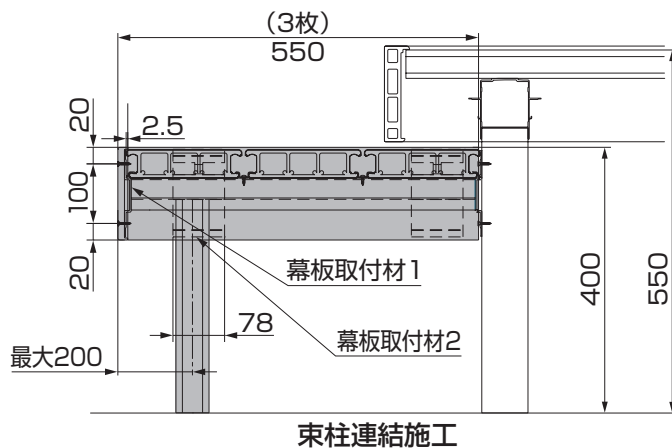
(1) 幕板床板固定 間口方向納まり図(正面)



ポイント

- デッキの間口最大寸法は、 $W+25\text{mm}$ です。
- デッキ最低寸法は150mmです。

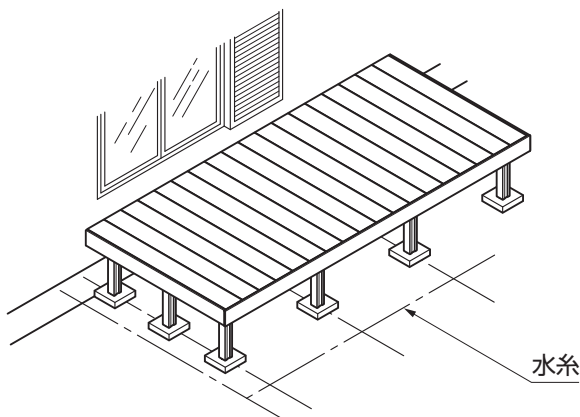
(2) 幕板床板固定 出幅方向納まり図(側面)



ポイント

- デッキの出幅寸法は、(3枚)550mm・(5枚)910mmです。
- デッキ最低寸法は150mmです。

3. 基礎石の配置



- ①「2.基本寸法と各部名称 2-2基本寸法納まり」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

ポイント

- 本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

4. 基礎の施工

4-1 基礎石の埋込み

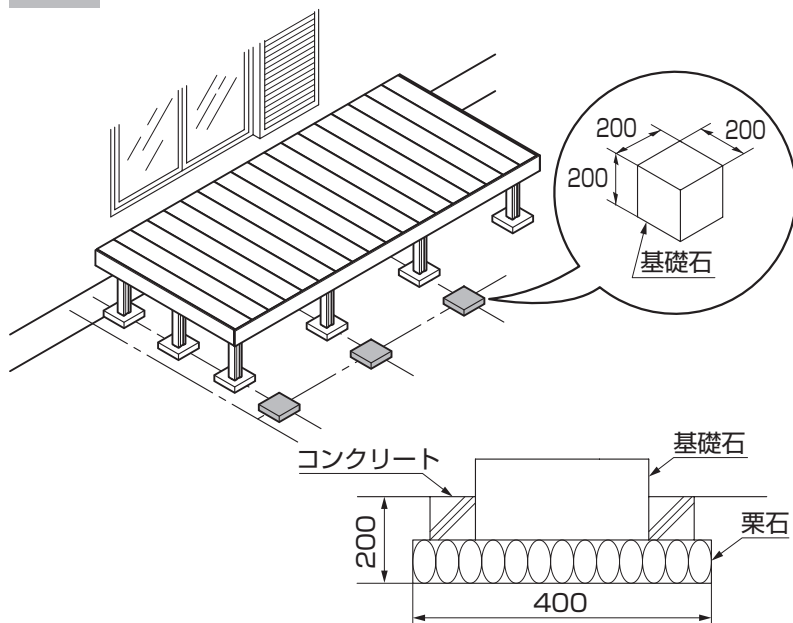


図4-1

- ①各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いて、基礎石を据えてください。

ポイント

- この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

- ②基礎石のレベルを出してください。
③基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

ポイント

- コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

4-2 束柱の加工

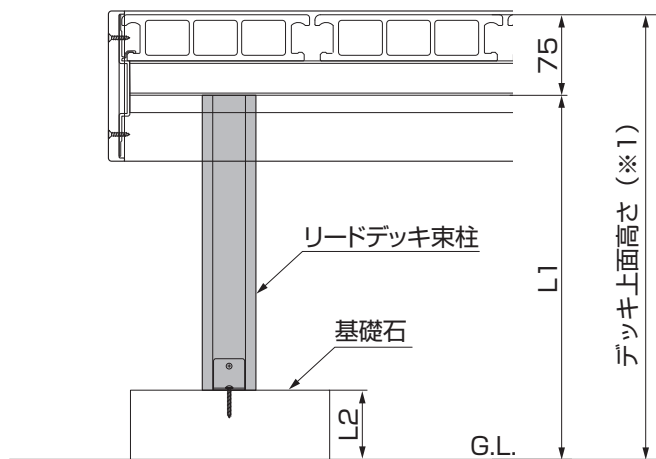


図4-2

- ①デッキ上面高さ(※1)を決定してください。

補足

- デッキ上面高さを決めると、L1が決ります。

- ②リードデッキ束柱を、L1からL2を引いた寸法で切断加工してください。

補足

- リードデッキ束柱を切断するときには、基礎石の寸法を考えて切断加工してください。
- リードデッキ束柱最大切詰寸法は250mmです。
- リードデッキ束柱最低寸法は75mmです。

5. リードデッキ束柱とリードデッキ大引きの取付け

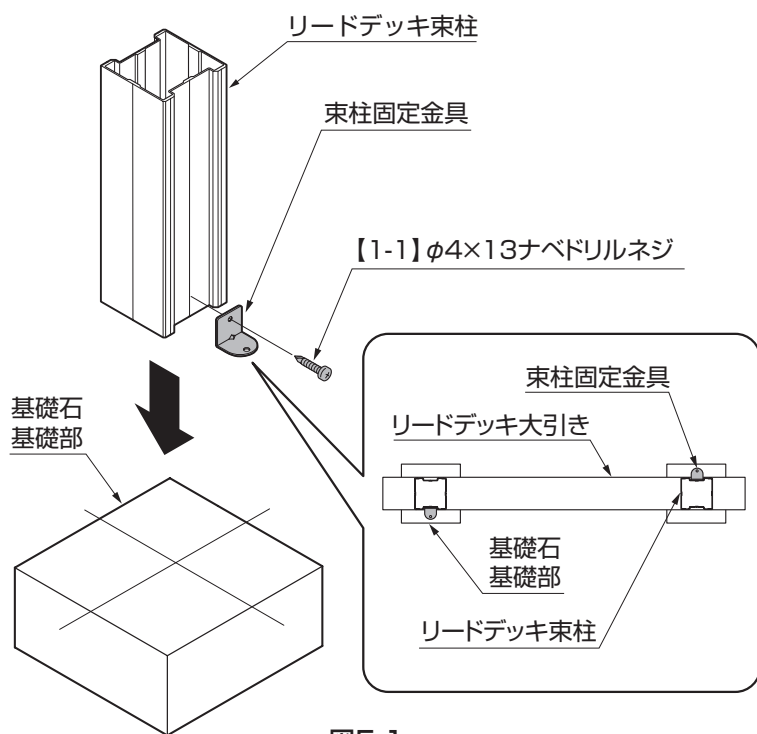


図5-1

①リードデッキ束柱に束柱固定金具を【1-1】で固定してください。

ポイント

●束柱固定金具はそれぞれの束柱に交互に取付けてください。(図5-1参照)

②「2.基本寸法と各部名称 2-2基本寸法納まり」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部にリードデッキ束柱をのせてください。

ポイント

●基礎部材の水平・直角等を確認してください。

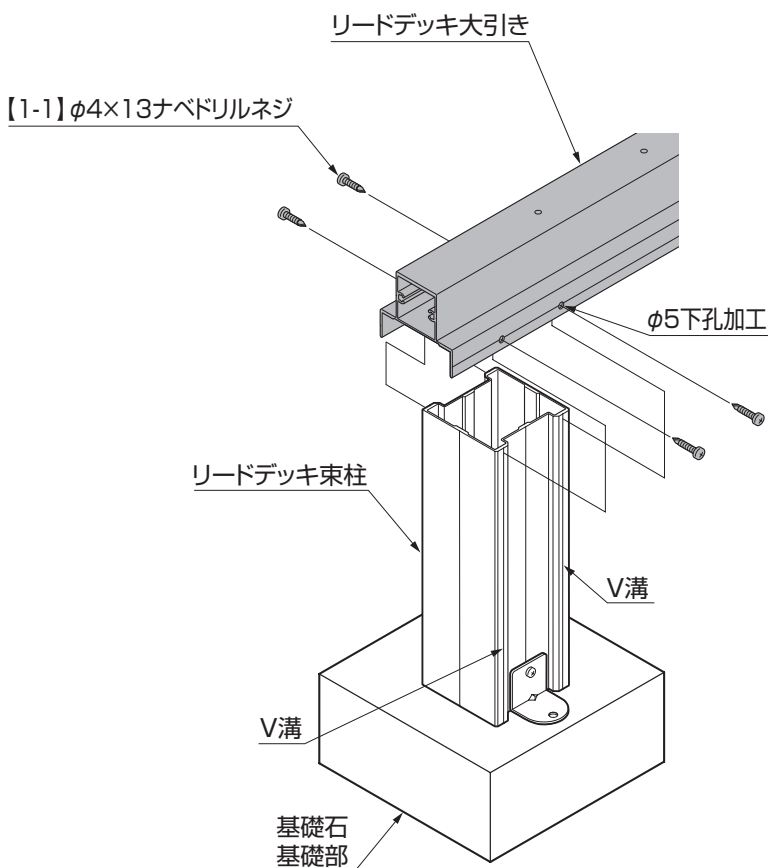


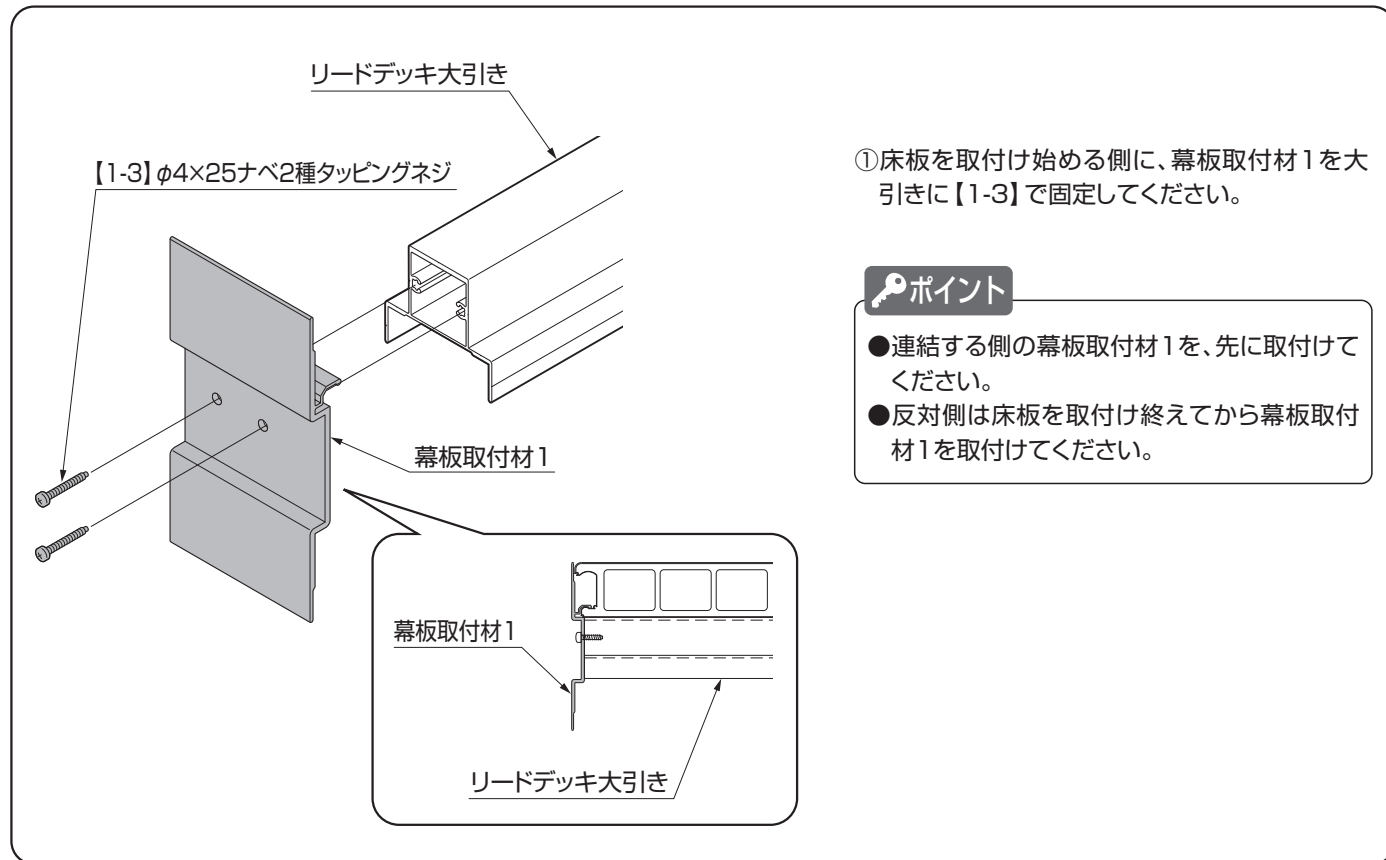
図5-2

③リードデッキ大引きとリードデッキ束柱をV溝に合わせて【1-1】で固定してください。

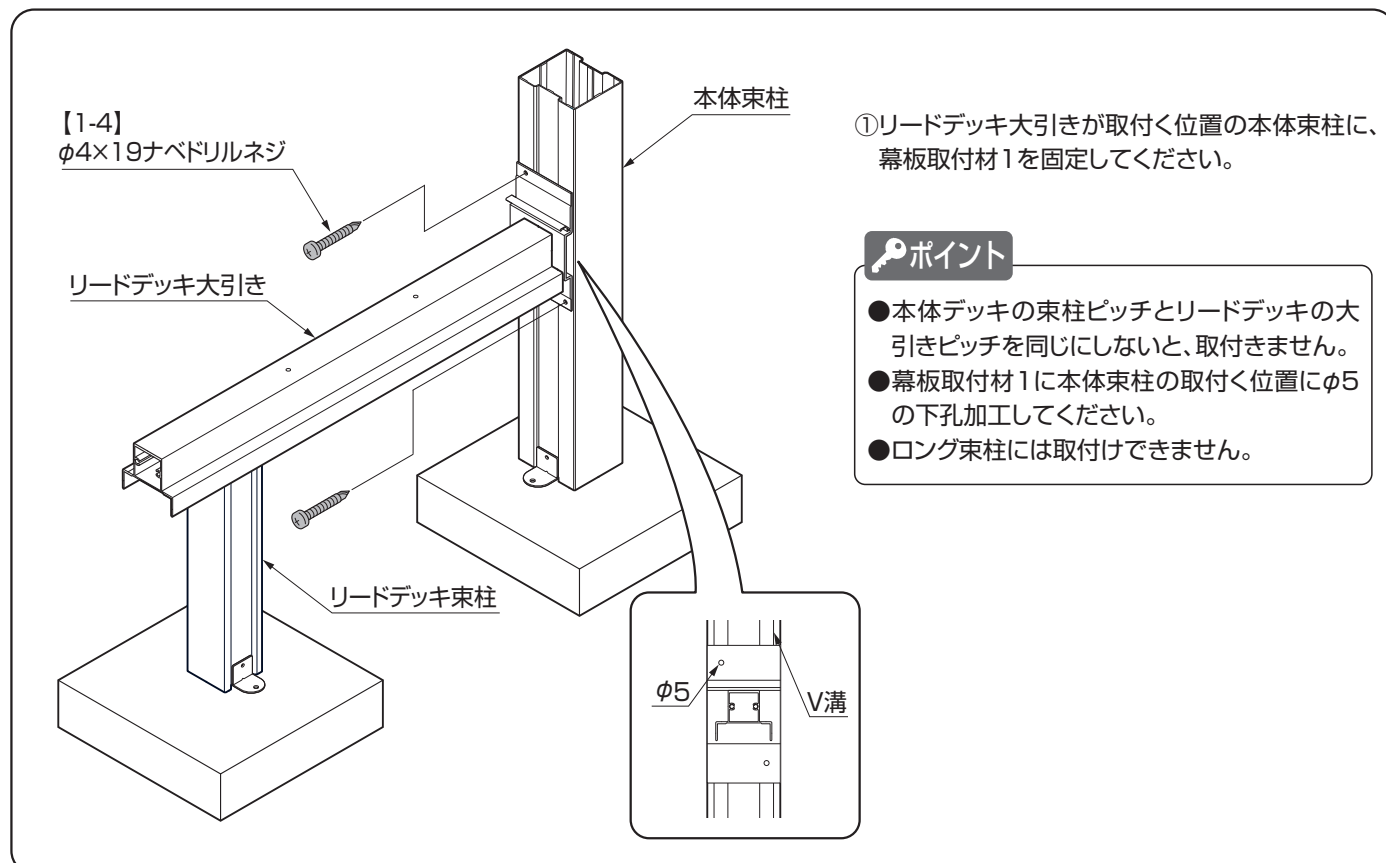
ポイント

●リードデッキ大引きのV溝に沿ってφ5下孔をあけてください。

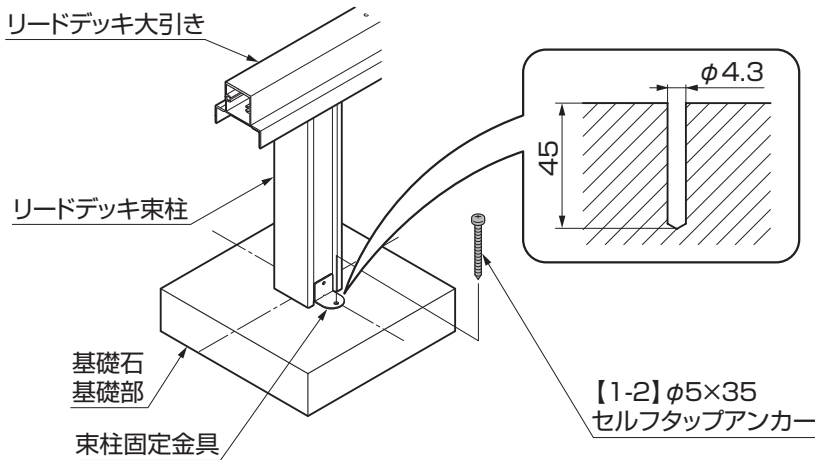
6. 幕板取付材1の取付け



7. 本体デッキへの取付け



8. リードデッキ束柱の固定



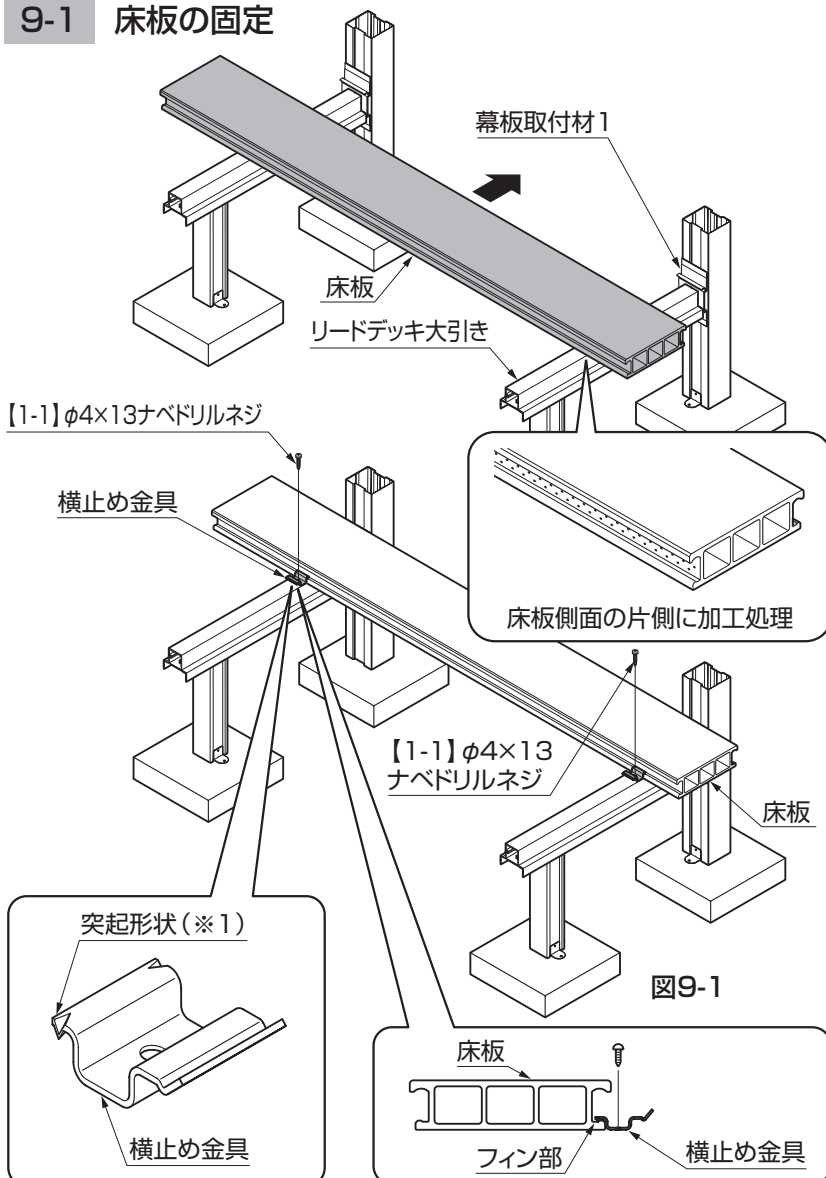
- ①基礎石または基礎部に、φ4.3で深さ45mmの下孔をあけてください。
- ②束柱固定金具を基礎石または基礎部に【1-2】で固定してください。

ポイント

- 束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後、行ってください。

9. 床板の取付け

9-1 床板の固定



- ①床板をリードデッキ大引きの幕板取付材1に差し込んでください。

ポイント

- 床板側面の片側には加工が施されており手で触れると表面がザラザラしています。床板施工時にこの加工方向を合わせることで床板表面の研磨加工方向を揃えることができます。

- ②横止め金具を床板のフィン部に乗せて、【1-1】で下孔の位置に取付けてください。

ポイント

- 突起形状(※1)のある側を床板のフィン部に取付けてください。

図9-1

9. つづき

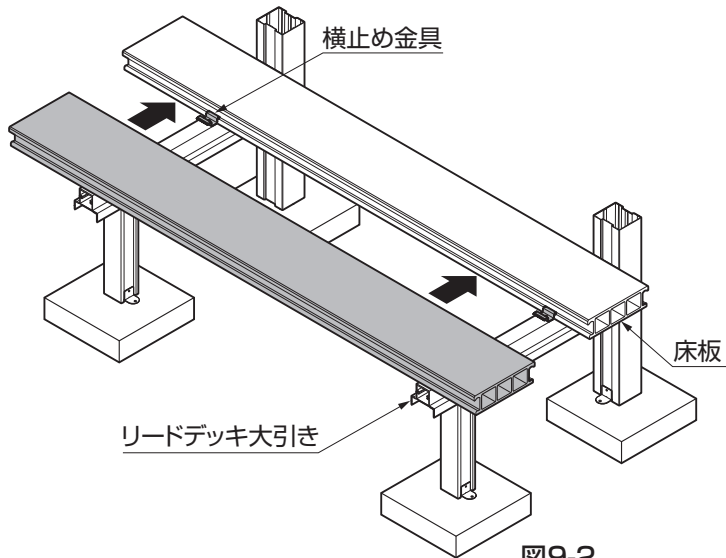


図9-2

③床板を横止め金具に差し込んでください。

ポイント

- 入りにくい時はプラスチックハンマーで軽くたたいて入れてください。

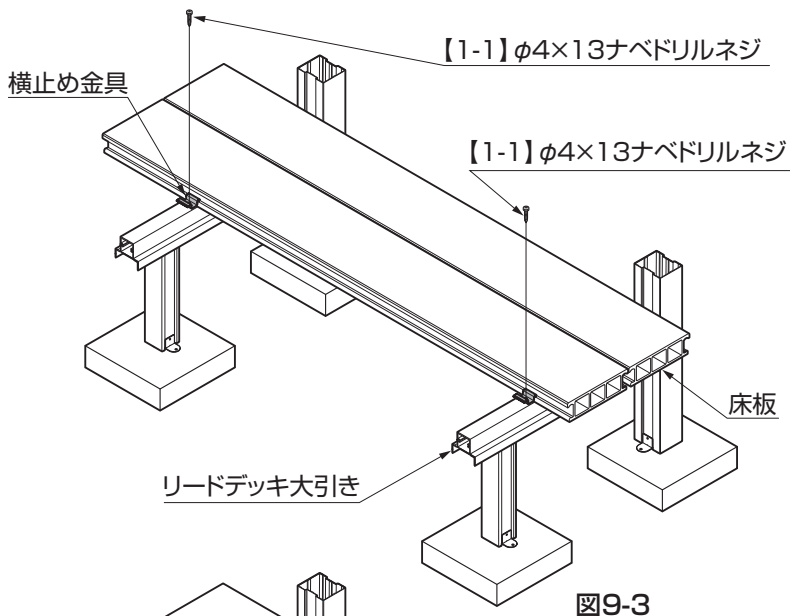


図9-3

④2枚目以降も横止め金具を【1-1】でリードデッキ大引きの下孔の位置に取付けてください。

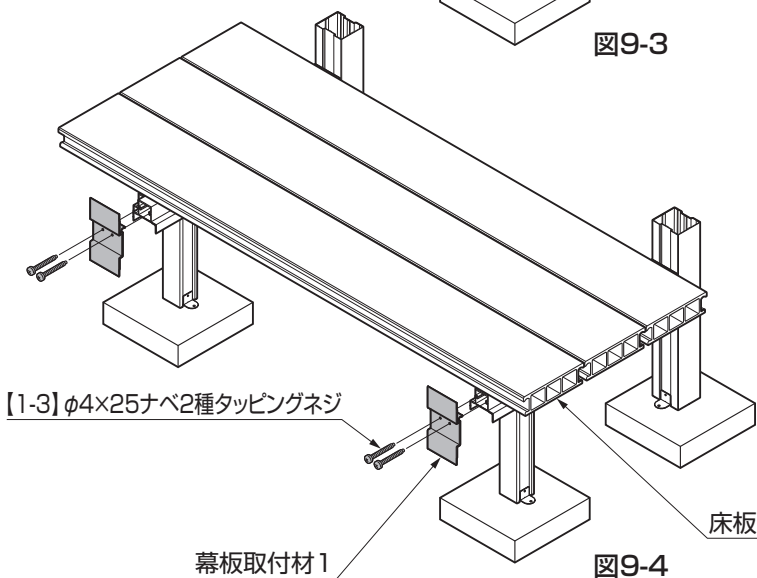


図9-4

⑤幕板取付材1をリードデッキ大引きに【1-3】で取付けてください。

10. 幕板取付材2の取付け

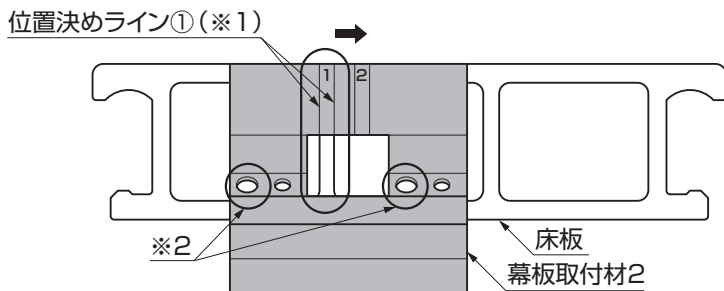


図10-1

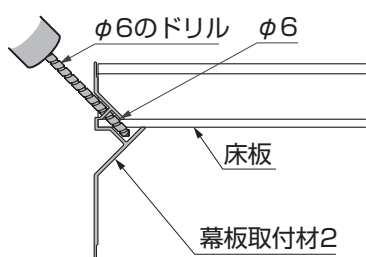


図10-2

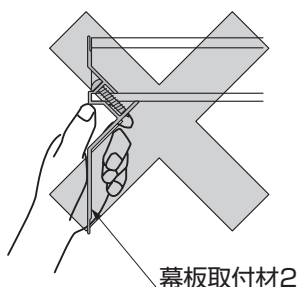


図10-3

ポイント

●幕板取付材2がずれないように押さえながら孔をあけてください。

①幕板取付材2を床板中空部にはめこみ、同取付材の左側位置決めライン①(※1)に床板リブを合わせ、左側の孔(※2)に従ってφ6の下孔をあけてください。

ポイント

●床板に下孔をあけるときの、幕板取付材2には孔をあけないように注意してください。

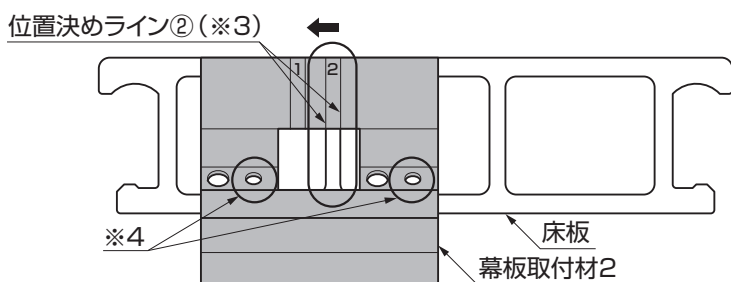


図10-4

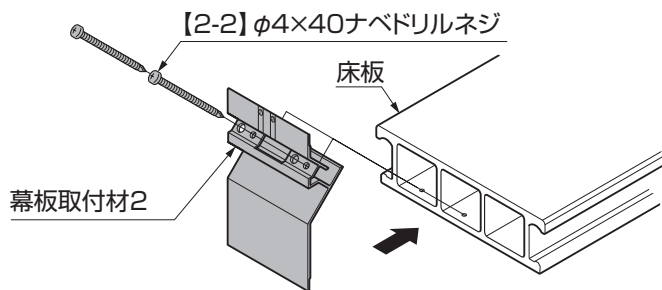


図10-5

注意

●幕板取付材2の下部を持って、[2-2]で固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

②幕板取付材2を右側位置決めライン②(※3)に床板リブを合わせ、右側の孔(※4)へ[2-2]で固定してください。

11. 幕板Bの取付け

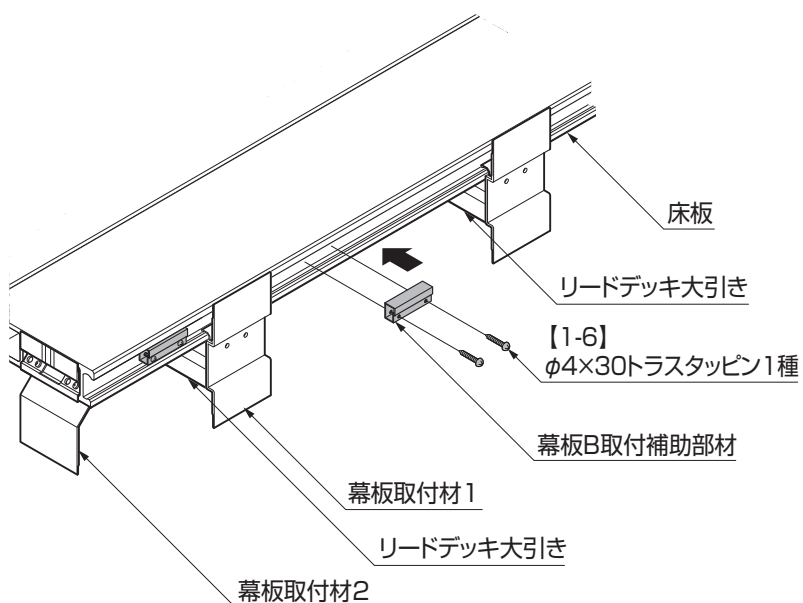


図11-1

①床板側面のリードデッキ大引き間中間部と、床板端部とリードデッキ大引き間中間部に、幕板B取付補助部材を【1-6】で固定してください。

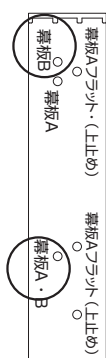


図11-2

②孔開け治具を使って、幕板取付材1及び幕板取付材2と幕板B取付補助部材が付いている部分に、φ4.5の下孔とφ8サヲ取りを幕板Bにしてください。(図11-3参照)

ポイント

●側面の幕板Bは大引きに取付けている幕板取付材1へは上下2ヶ所、幕板B取付補助部材へは上1ヶ所の取付けになります。

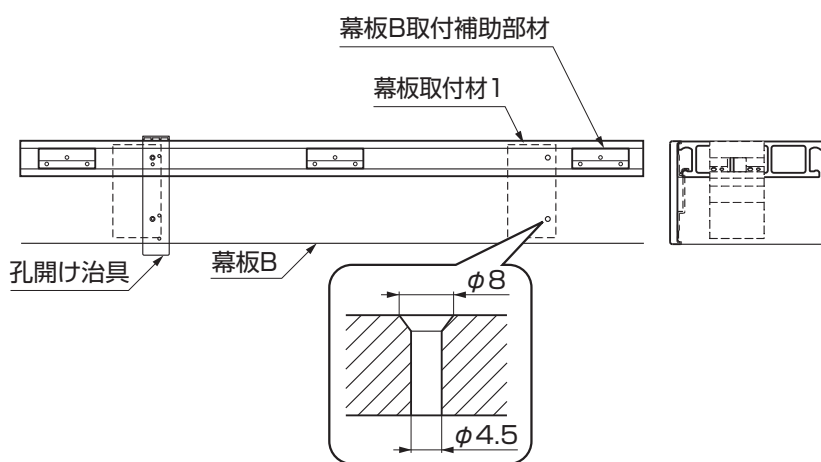


図11-3 幕板の孔あけ

11. つづき

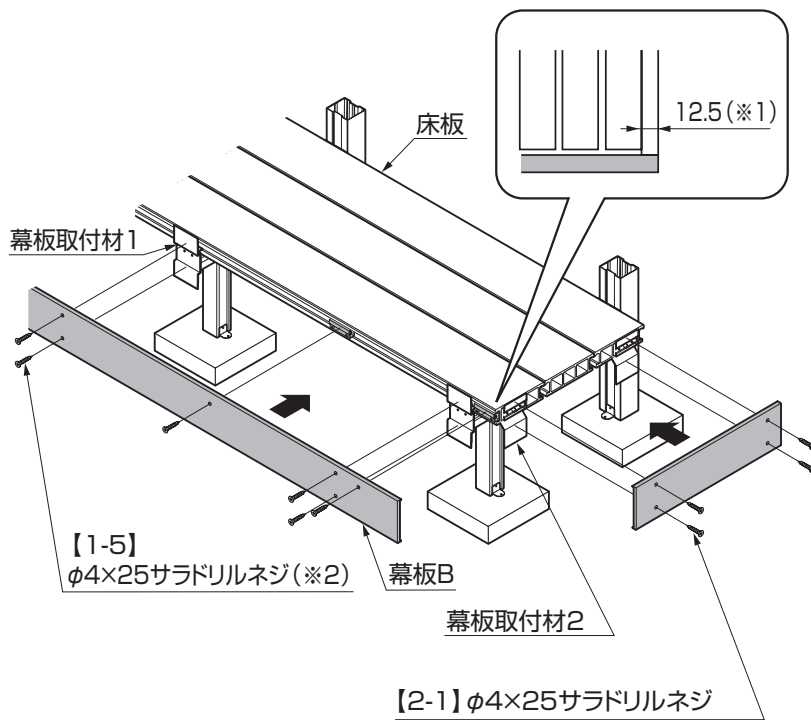


図11-4

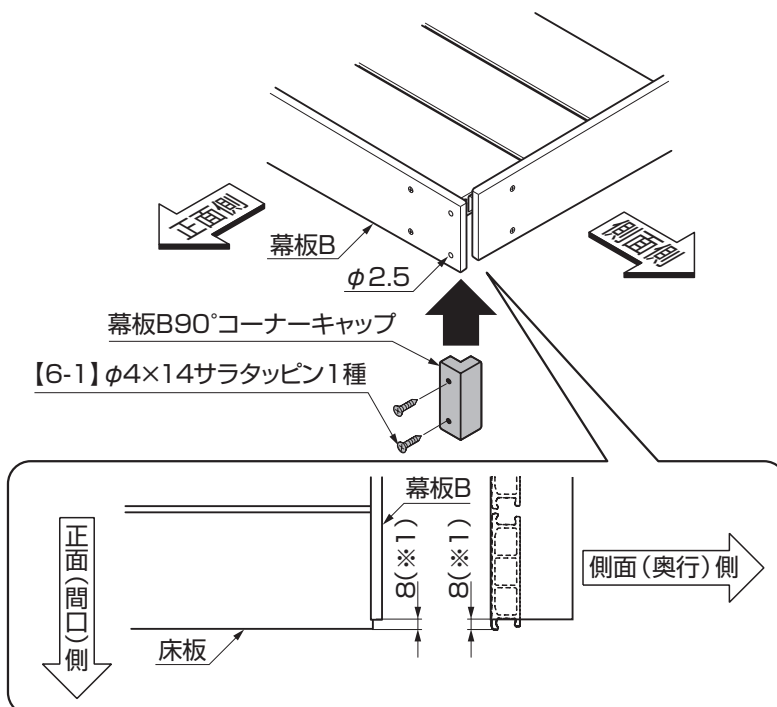
ポイント

- 正面側面部の幕板Bは床板から12.5mm (※1)とび出した納りになります。
- 【1-5】(※2)はブロンズと生地2色が梱包されています。【2-1】のネジ色と同じものをお使いください。

③ 正面の幕板Bを幕板取付材1及び幕板B取付補助部材に、【1-5】で固定してください。

④ 側面の幕板Bを幕板取付材2に、【2-1】で固定してください。

12. 幕板B90°コーナーキャップの取付け **オプション**



① 幕板B側面(出幅)側を図2のように幕板B正面(間口)側から8mmのところを切断してください。

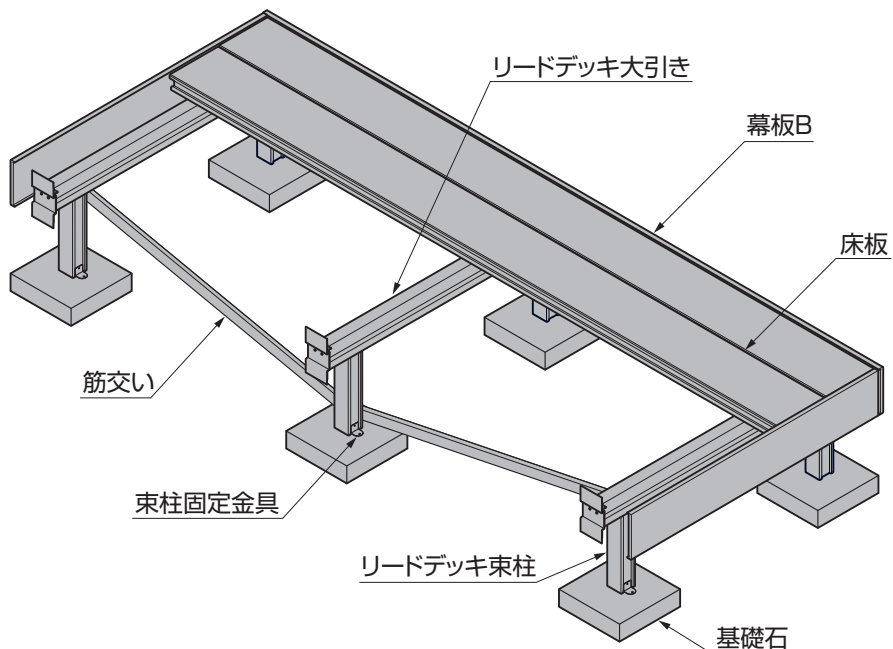
② 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bコーナー部に当てて、デッキ正面側の幕板Bにφ2.5の下孔を2ヶ所あけてください。

③ 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bに【6-1】で取付けてください。

13. 単独施工の場合

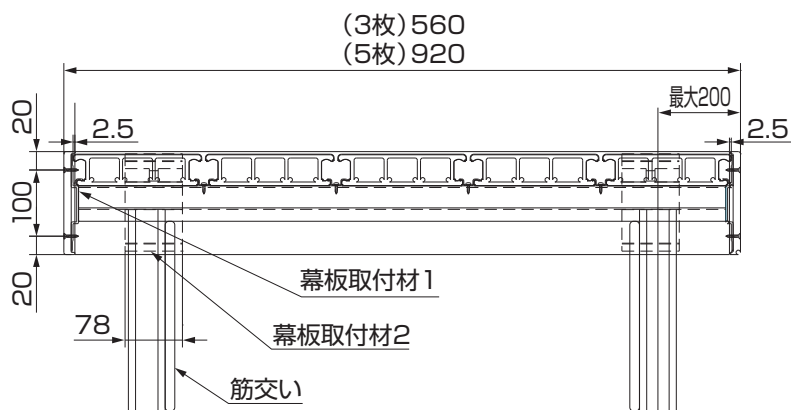
13-1 各部名称と基本寸法

(1) 各部名称



(2) 基本寸法納まり

幕板床板固定 出幅方向納まり図(側面)

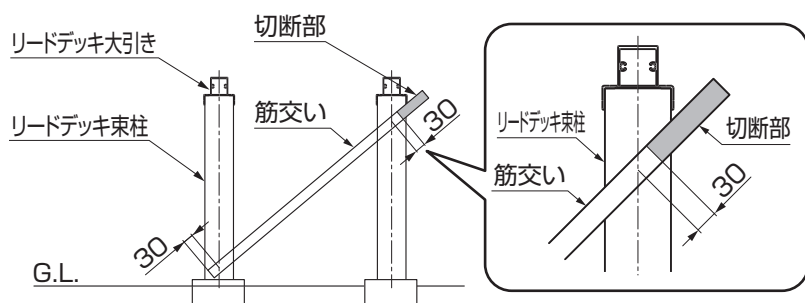


独立施工

ポイント

- 単独施工をする場合は必ず筋交いを取付けてください。

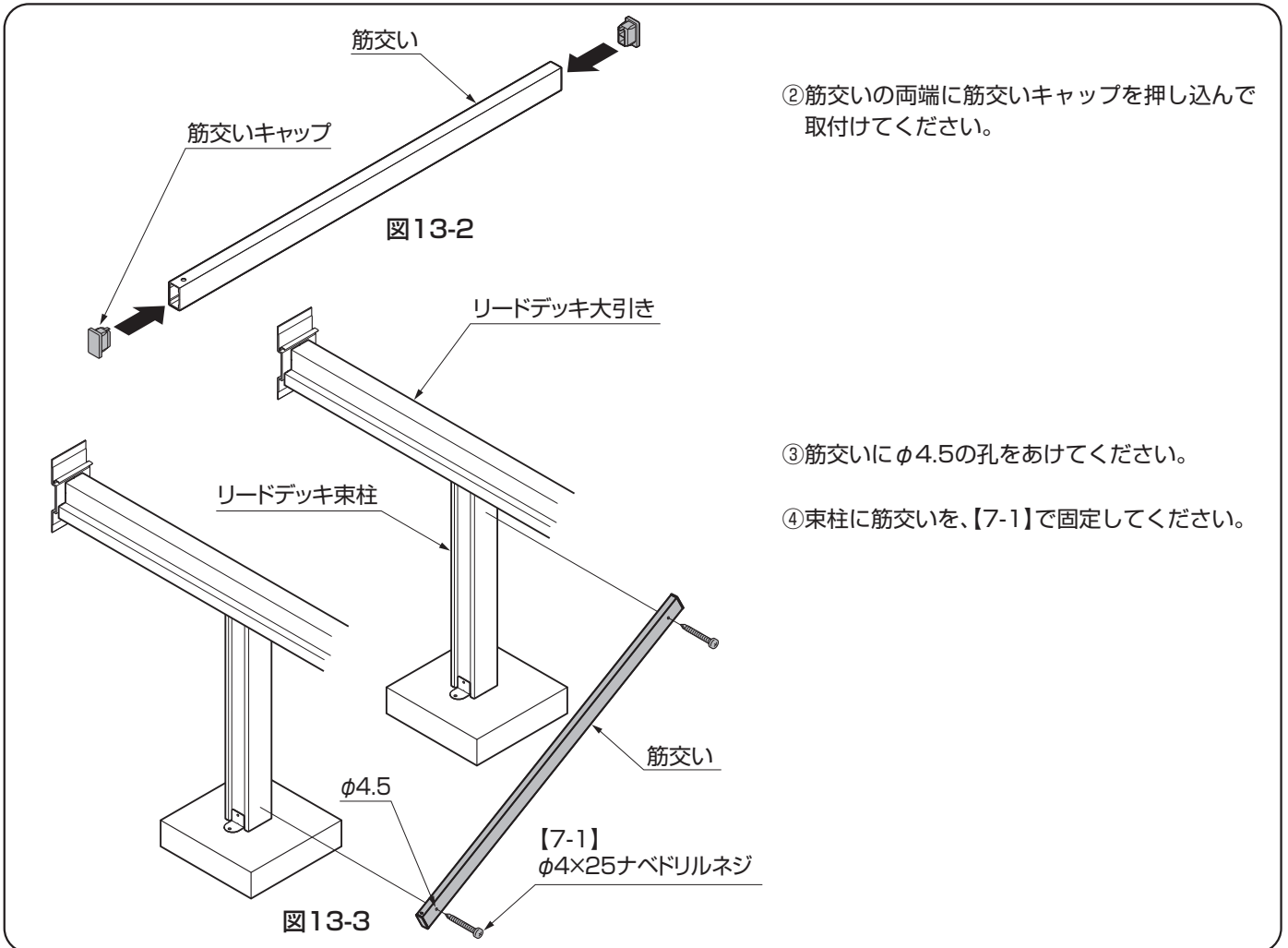
13-2 筋交いの取付け



- ① 取付け位置を確認し、リードデッキ束柱の中心から30mm程度で切断してください。

図13-1

13. つづき

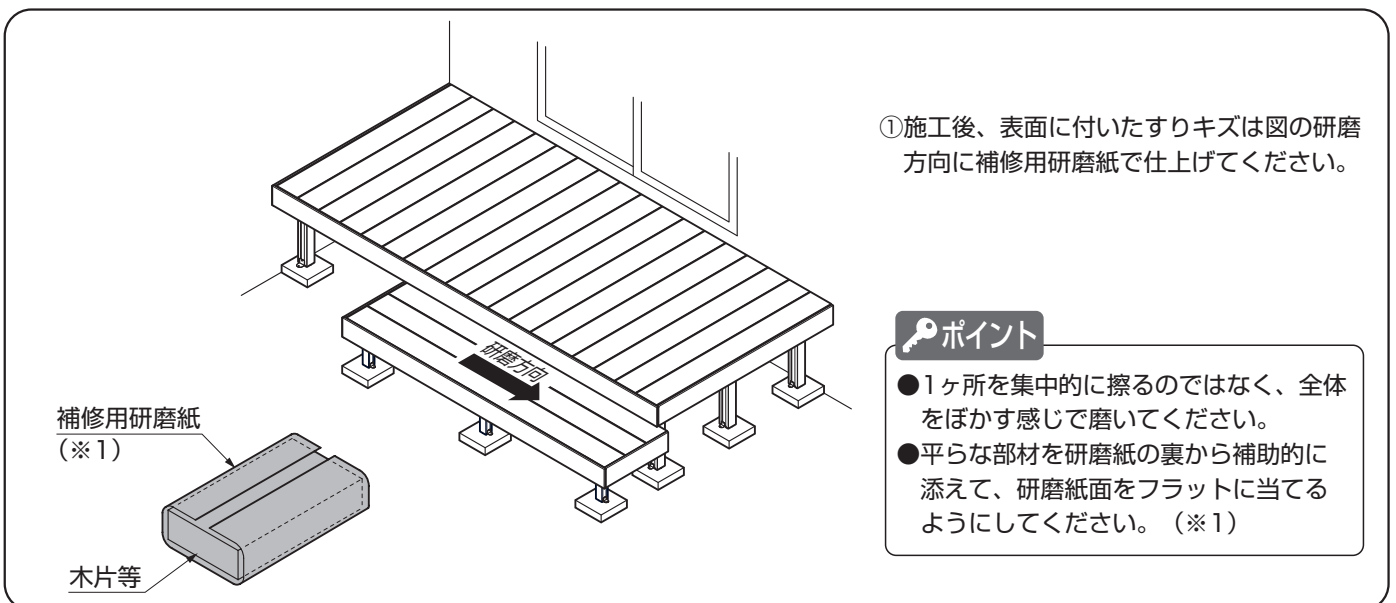


②筋交いの両端に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。

③筋交いにφ4.5の孔をあけてください。

④束柱に筋交いを、【7-1】で固定してください。

14. 施工後の仕上げ



①施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

ポイント

- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

取説コード

E210

JWZ612478G
200603A_1041
201210H_1041